



北アフリカ地域ニュース

リビア：ロシア・ガスプロム社との協力

(4月19日付現地各紙)

1. 石油ガス関連の合弁企業設立

(1) ロシアの国営天然ガス会社ガスプロム社によると、同社はリビアの国営石油公社と合弁企業を設立する。この契約は、プーチン大統領がリビアを訪問した際に結ばれた（プーチン大統領がリビアを訪問したのは今回が初めて）。

(2) アレクセイ・ミラー・ガスプロム社 CEO によると、この新しい合弁企業について、「石油ガス分野における地質調査から生産、運搬、販売にいたるまで文字通り全ての分野での（両国）協力を実施する」と16日述べた。

(3) また同 CEO は、ガスプロム社がリビアにおける液化天然ガス（LNG）プロジェクトを合同で実施することやリビア-イタリア間のガス・パイプライン建設への参画、他の北アフリカ市場での共同操業に関心を持っていると述べた。

2. リビア、イタリア ENI 社とガスプロム社のスワップ取引を支持

(1) リビアの石油部門高官によるとリビアは、ENI 社がスワップ取引の一環として、リビアのエレファント油田における ENI 社の権益をガスプロム社に譲渡するとの提案を支持するかもしれない。スカローニ ENI 社社長は、先週初めに、ガスプロム社に対して本件を提案すると述べたがトリポリの許可を必要とする。

(2) リビアの OPEC 代表であり、ローマで開催されている国際エネルギーフォーラムに出席中のガーンム国営石油公社総裁は、記者団に対し、「リビアと ENI 社、ガスプロム社との関係は良好であり、外交関係も良好である。この提案に対し、強い関心をもって検討している」と述べた。また同総裁は、ENI、ガスプロム両社はまだリビア政府に対して両社の含意を示していないとも述べた。

(3) リビアのエレファント油田は 1997 年に発見され、2006 年には日量 12 万 4 千バレルを生産している。